

1/19年後

名護市長選大激戦

大激戦の沖縄県名護市長選(23日投票)は、は、「最も重要と考える争点」として「米軍普天間飛行場の辺野古移設」が30・8%で最も訴える。「オール沖縄の岸本ようへい候補が、政府・自公丸抱えの現市長を通過しています。18日報道の各社世論調査から、新

基地建設反対といふ民意が握られています。次いで、「経済振興」「観光発展・インフラ整備」が26・5%、「教育・子育て支援」16・3%などとなっています。

また、「辺野古移設」の賛否では、「反対」が63%で、「支持」が36%です。この結果、「どちらかといえば反対」が62・1%、「どちらかといえば賛成」が32・9%となりました。

民意おそれ

2紙と「共同」調査でも、現市長支持と答えた人の32・6%が「辺

野古埋め立ての賛否を問う県民投票で、名護市では73%が「反対」が、軟弱地盤改良に伴う設計変更申請を不承認としたことについても、「57%が支持してい

ます。野古埋め立ての賛否を一切立「または「反対」だ

と考へている人も少なくあります。

「新基地反対」多数の民意は揺るがず

市長選(23日投票)は、は、「最も重要と考える争点」として「米軍普天間飛行場の辺野古移設」が30・8%で最も

訴えられる。「オール沖縄の岸本ようへい候補が、政府・自公丸抱えの現市長を通過して

重要な争点

多。次いで、「経済振興」「観光発展・インフラ整備」が26・5%、「教育・子育て支援」16・3%などとなっています。

また、「辺野古移設」の賛否では、「反対」が63%で、「支持」が36%です。

この結果、「どちらかといえば反対」が62・1%、「どちらかといえば賛成」が32・9%となりました。

2紙と「共同」調査でも、現市長支持と答えた人の32・6%が「辺野古反対」と回答しています。本紙の市民アンケートでも、現市長は、「新基地建設で「中止」または「反対」だ

と考へている人も少なくあります。

岸本候補が県民の誇りと尊厳をかけて新基

地は認めないと訴えて

いる」「国にも米軍

にもモノが賣えない現

状況がある、有権者

の関心が分散する中で「中止」を買ってきま

した。加えて、新基地

への協力と引き換えの

市長では市民の命と書

いた。候補であることは明らか

とした「子育て」無料化を実績としてア

する可能性が示されて

ピール。前出の地元紙